

総合的な学習の時間の実践

福島町

総合的な学習
6年

未来の町を考えよう！

福島町を盛り上げよう

単元の概要 と 単元構成

本校では、3年生から地域を素材にした総合的な学習を継続して行っています。今回、町の歴史や産業を学んだ6年生が、学習のまとめとして、アイデアを生かして、福島町の町づくりについての企画をプレゼンテーションしました。地域の名産「スルメ」や自然環境を生かしたイベントや取組など、地元の子供たちならではのユニークな発想や願いを役場の方に提案し、未来の町づくりへ希望と関心をもたせました。

学習活動の流れ（16時間）

元町教育長さんのお話を聞き、

インタビューしよう（3）

- ・町の歴史、産業、自然、現状を教えてもらおう

町づくりを考えよう（4）

- ・町のよさ（自然や水産業）を生かしたイベントや企画、取組がよいのでは
- ・ヒントになりそうな情報を探そう
- ・他のグループの企画も参考になりそう

プレゼンテーションの準備をしよう（6）

- ・資料やグラフ、表などを使って説得力あるプレゼンテーションをしたい
- ・企画の良さや改善点を他のグループと学び合おう

役場の方へプレゼンテーションをしよう（3）

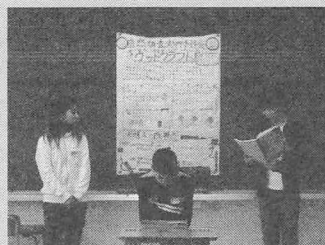
- ・私たちの企画が少しでも町のためになればいいな
- ・発表を役場の人に聞いてもらって、うれしかった
- ・町を大切にしていこう

町づくりにかかわってきた方の話で、町のよさや問題点を知らせ、町づくりへの興味をもたせました。

特性を生かした町づくりに自分たちから働きかけることで、町民の自覚や将来への夢と希望をもたせました。

役場の方へプレゼンテーションするために、伝える力や表現力が必要であり、他教科や情報教育などと密接に関連しています。

3年生からの地域学習のまとめとして、特性を生かした町づくりに目を向けさせ、自分たちから町へ働きかけることで意欲をもたせました。



役場でプレゼンテーション

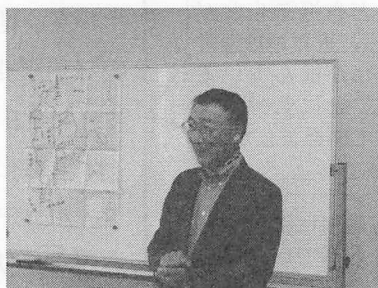
教材・活動の Point!

1. 「町の財政は赤字！」元教育長さんのお話

元教育長さんから町の歴史、自然、産業、昔の遊びなど様々なお話を聞いた中で、町が赤字であることを知りました。「観光客などお客さんがなかなか来ないから」という理由から、地域学習で訪ねた記念館や地元の自然が大好きな6年生に、なぜという思いが生まれました。

2. 地域のよさを生かした町づくりの視点

「もっと観光客に来てほしい！」という願いから、町の未来を考え始めました。しかし、赤字の町財政という現実から遊園地などは無理と判断しました。そこで、町の自然や水産業という長所に注目し生かそうと発想の転換をすることに。インターネットなどからヒントを得て、現実的なアイデアを生み出しました。



3. 役場の方へプレゼンテーション！

子どもたちが、町を盛り上げようと懸命に調べ、考えたアイデアを、役場の企画担当者にプレゼンテーションする活動を設定しました。発表物、発表方法はもちろん、企画の内容や進め方を工夫し、説得力あるものにしようと相談する姿が見られました。

